

クロアチア情勢（2020年2月）

在クロアチア日本国大使館

1. クロノロジー

【内政】

3日	リエカ市欧州文化首都オープニング・イベントが開催され、ミラノビッチ次期大統領、オブリエン＝コルジネク文化相、プトコビッチ海事・運輸・インフラ相、シュイツァ欧州委員会副委員長（民主主義・人口動態担当）、オベルスネル・リエカ市長、マテシヤ・クロアチア・オリンピック委員会会長（元首相）、各国大使等が参加。
5日	プレンコビッチ首相は、第二次世界大戦中のクロアチア独立国によるユダヤ人の苦しみに関する展示会の開会式に出席。
7日	3月のHDZ党内選挙に向け、プレンコビッチ首相陣営の候補者が発表された（党首候補：プレンコビッチ首相、筆頭副党首候補：メドベド退役軍人相、副党首候補：プトコビッチ海事・運輸・インフラ相、ブシッチ外務・欧州問題省副大臣、バチッチ与党院内幹事、アヌシッチ・オシエク・バラニャ県知事）。
10日	ブルキッチHDZ筆頭副党首は、HDZ党内選挙において、党首候補として、プレンコビッチ首相でなく、コバチ議会外交委員会委員長（元外相）を支持する旨発表。
	ザグレブ市議会は、バンディッチ・ザグレブ市長率いるBM365が提案していたザグレブ総合都市開発計画（GUP）改定案（同市長が推進する「ザグレブ・マンハッタン」開発計画を実現するために必要とされる改定を行おうとしていたもの）を否決（賛成18票、反対31票）。
18日	ミラノビッチ第5代大統領の就任式が行われた。
18-20日	18日、イエレニッチ検事総長が、秘密結社フリーメイソンのメンバーであることが報じられ、19日、同検事総長は辞表を提出、20日、政府は同辞表を受理した。（検事総長は、政治組織への参加及び政治活動、並びに、独立または社会的信用を損なう可能性のある活動に従事してはならない旨法律で規定されている。）
21日	ミラノビッチ大統領（クロアチア軍最高司令官）は、フラニ・クロアチア海軍中將をクロアチア軍参謀総長に任命。フラニ海軍中將は、3月1日に軍参謀総長に就任予定。
	ミラノビッチ大統領は、大統領府の顧問等を選任。大統領府長官兼外交・欧州問題担当顧問にミリエニッチ議員（議会司法委員会委員長）が、国防・安全保障担当顧問にロザンチッチ元国家保護救援局長（前治安情報庁（SOA）長官）が就任する。
25日	クロアチアにおける1例目の新型コロナウイルス感染症例が発生。

26日	クロアチアにおける2～3例目の新型コロナウイルス感染症例が発生。
27日	HDZ党内選挙に向け、再選を目指すプレンコビッチ党首(首相)等は、党内選挙の立候補に必要となる署名をHDZ本部に提出。プレンコビッチ首相は4万5000以上の署名を提出。
28日	HDZ党内選挙に向け、党首候補として立候補を表明しているコバチ議会外交委員会委員長(元外相)が1万7000以上の署名をHDZ本部に提出。
	クロアチアにおける4～5例目の新型コロナウイルス感染症例が発生。
	クロアチア議会は、議会の過半数の賛成票(賛成103票、反対2票、棄権1票)により、イエレニッチ検事総長を解任。
	クロアチア議会は、1月30日にクロアチア政府により提出されていた国勢調査法案を可決。同法案により、2021年4月1日から5月7日にかけて国勢調査が実施される予定。政府は、国勢調査のために1億7730万クーナを確保している。
29日	クロアチアにおける6例目の新型コロナウイルス感染症例が発生。
	客年12月に行われた第7回大統領選挙第1回投票で3位となったシュコロ氏(元議員、元歌手)は、新党「ミロスラヴ・シュコロ祖国運動」を立ち上げ。

【外交】

1日	プレンコビッチ首相は、ポルトガルで開催された結束グループ(Friends of Cohesion Group)第3回首脳会合に出席した他、コスタ・ポルトガル首相と会談。
3日	ラドンチッチ・ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)治安相が当国を訪問し、ボジノビッチ副首相兼内務相と会談。
3-4日	ザグレブで非公式EU競争(研究)大臣会合が開催され、ディビャク科学・教育相やガブリエル欧州委員(イノベーション・研究・文化・教育・青年担当)等が出席。
4-5日	ムスリム世界連盟、クロアチア・イスラム・コミュニティ及びクロアチア司教会の共催による「Human Fraternity – the Foundation of Security and Peace in the World」と題する会議がザグレブ市で開催。グラバル＝キタロビッチ大統領及びムスリム世界連盟のムハンマド・ビン・アブドルカリム・イーサ事務総長が臨席。
6日	プレンコビッチ首相は、バチカンを訪問し、ローマ教皇フランシスコに謁見した他、パロリン・バチカン国務長官(首相)と会談。
8日	プレンコビッチ首相は、ブリュッセルを訪問し、ミシェル欧州理事会議長と会談。
10日	グラバル＝キタロビッチ大統領は、独を訪問し、独・クロアチア経済フォーラムの開会式に出席。
12日	グラバル＝キタロビッチ大統領は、任期中最後の外国訪問としてスロベニアを訪問し、パホル・スロベニア大統領と非公式昼食会を行った
12-	クルスティチェビッチ副首相兼国防相は、ブリュッセルで行われたNATO国防相会

13日	合に出席した他、ブワシュチャク・ポーランド国防相及びカロブリス・リトアニア国防相とそれぞれ会談。
13日	ベロシュ保健相は、新型コロナウイルス対策を議題とする臨時EU保健大臣会合に参加。
14- 16日	14日、グルリッチ＝ラドマン外務・欧州問題相は、ミュンヘンに於いて、ポンペオ米 国務長官と会談。「グ」外務・欧州問題相によれば、本年末までに、二重課 税防止条約の署名、米国査証免除の導入が実現されるだろう由。 15～16日、プレンコビッチ首相及び「グ」外務・欧州問題相は、第56回ミュンヘン 安全保障会議に出席。「プ」首相は、クルティ・コソボ首相、ストルテンベルグNAT O事務総長、ペンダロフスキ・北マケドニア大統領、クルツ墾首相、クランプ＝カレ ンバウアー独国防相等とそれぞれ会談。
16- 17日	16日、プレンコビッチ首相は、ブリュッセルでEU及び西バルカン諸国首脳との非 公式夕食会に参加。17日、「プ」首相は、ヴァールヘイ欧州委員（欧州近隣政策・ 拡大交渉担当）及びトウスク欧州人民党（EPP）党首とそれぞれ会談した他、フォ ン・デア・ライエン欧州委員会委員長との非公式昼食会に参加。
18日	マリッチ副首相兼財務相がブリュッセルで開催された経済財務閣僚理事会（ECO FIN）に出席。
20- 21日	プレンコビッチ首相は、ブリュッセルで開催された臨時欧州理事会に出席。
24日	プレンコビッチ首相は、英国を訪問し、欧州復興開発銀行（EBRD）主催の西バルカ ン投資サミット2020に出席した他、ジョンソン英首相と会談。
	グルリッチ＝ラドマン外務・欧州問題相は、ギリシャを訪問し、西バルカン諸国の欧 州の展望を議題とするハイレベル会合に出席。
25日	メテルコ＝ズゴンビッチ外務・欧州問題省副大臣がブリュッセルで行われたEU総 務理事会の議長を務めた。
	グルリッチ＝ラドマン外務・欧州問題相は第43回国連人権理事会ハイレベル・セ グメントに出席した他、バチエレ国連人権高等弁務官と会談。その後、同外相は、ジ ュネーブで開催された軍縮会議に出席。
	ベロシュ保健相は、伊を訪問し、新型コロナウイルス対策を議題とする、伊、仏、ス イス、スロベニア、オーストリアの保健相及びキリアキデス欧州委員（保健・食品安 全担当）との会合に出席。
27日	ミラノビッチ大統領は就任後初の外遊先としてスロベニアを訪問し、パホル・スロベ ニア大統領と会談。
	グルリッチ＝ラドマン外務・欧州問題相は、チェコを訪問し、西バルカン諸国及びヴ ィシエグラード4か国（V4）外相会合に出席。
28日	グルリッチ＝ラドマン外務・欧州問題相は、ハンガリーを訪問し、シーヤールトー・ハ

	ンガリー外相と会談。
--	------------

【経済】

3日	クロアチア国鉄インフラストラクチャー社と壙系 Swietelsky 社は、ビロビティツァ-ピトマツァ区間(21キロ)の鉄道改修事業に関する契約に署名。事業総額は1.7億クーナで、工期は18カ月。
5日	クロアチア経済会議所の医療部門サプライヤー部会は、医療機関の医薬品・医療機器卸売事業者に対する負債が2019年末時点で31億クーナに達し、1000日間以上延滞が続いている旨指摘。
6日	政府は、国際復興開発銀行との総額1億ユーロの融資契約に向けた手続きを進めることを承認。同融資は、行政や司法サービスの効率化、ビジネス環境の改善等に向けたプロジェクトに充当予定。
7日	クロアチア環境保護・エネルギー省、ドブロブニク=ネレトバ県、エネルギー効率化基金、廃棄物管理庁は、Lucino Razdolje 廃棄物管理センター及び集積基地建設事業に対するグラント契約に署名。総事業費は4.08億クーナで、うち70%をEU基金でカバー。
	クロアチア政府統計局は、2019年の貿易統計を公表。同年の輸出額は1141億クーナ(前年比5.7%増)、輸入額は1840億クーナ(同4.4%増)となり、貿易収支は700億クーナの赤字。
9日	民間リサーチ会社 Promocija Plus は1月の新車販売台数を公表。同月の販売台数は3641台と前年同月比2.3%増。
12日	クロアチア国鉄旅客輸送とスロベニア鉄道旅客輸送(Slovenske Željeznice SZ Potniski Promet)は、両国における国際鉄道旅客サービスの改善に向けた覚書に署名。
13日	欧州委員会は、冬季経済見通しを発表。クロアチアの2019年の経済成長率は3%、2020年は2.6%、2021年は2.3%との予測。
	政府は、国営ガス配送企業プリナクロに対する銀行団(クロアチア郵便銀行、PBZ)の長期融資に対し、1.87億クーナの政府保証を付与することを決定。同融資は、プリナクロのクロアチア復興開発銀行に対する未払い債務の返済に充当。
14日	リエカ港湾局は、バカル・バルクカーゴ・ターミナルの施設改修事業について、GP Krk 社、Colas Rail Hrvatska 社及び Colas Rail S.A.S 社の3社によるコンソーシアムと契約したことを発表。総事業費は600万ユーロで、うち85%はEU基金でカバーされる。
18日	クロアチア電力公社は、4月1日から来年3月31日までの電気料金(卸売価格)について、現行価格から8.1%引き下げる方針を決定。

20日	クロアチア国鉄インフラストラクチャー社は、ザグレブ-サブスキ・マロフ区間の鉄道路線の改修事業について、世銀との融資契約に署名。総事業費3.7億クーナ（VAT 除く）のうち、2.1億クーナを世銀の融資でカバー。施工業者はオーストリア系 Swietelsky 社で、工期は27か月。
21日	ブトコビッチ海事・交通・インフラ大臣は、シベニク市の公共交通機関統合促進プロジェクトに関する協定に署名。総事業費9900万クーナ、うち75%をEU基金でカバー。バス車両の購入、バス停留所・電子掲示板の改修、公共駐車場の整備、公共交通サービスを案内するアプリ開発等に充当。
24日	クロアチア航空は、ザグレブとソフィア（ブルガリア）及びポドゴリツァ（モンテネグロ）を結ぶ航空路線を5月より開設することを発表。
25日	クロアチア国立銀行は、2019年末時点の国内商業銀行による融資について、総額2603億クーナ（前年比3.6%増）となった旨公表。内訳は、家計向け融資が1330億クーナ（同6.9%増）、企業向けが820億クーナ（同0.8%減）、中央政府が371億クーナ（同2%増）等。
26日	欧州委員会は、EU加盟国の経済ガバナンスに関する国別勧告（ヨーロッパ・セメスター）を公表。クロアチア経済に関して、「GDPは金融危機前の水準に戻り、マクロ経済不均衡は是正が進むものの、未だ解消されておらず、更なる構造改革の推進が必要」と評価。
28日	クロアチア政府統計局は、GDP統計を公表。2019年第4四半期の経済成長率は前年比2.5%増、2019年全体の経済成長率は同2.9%増。
	クロアチア政府統計局は、観光統計を公表。2019年の観光客数は1950万人（前年比5%増）となり、うち外国人観光客数は1730万人（同4.3%増）。